

原発 そこが知りたい No. 46

吹田市 再エネ比関電の4.4倍の新電力へ切り替え購入

吹田市は、再エネ比率を主な条件にした競争入札を行ったところ、再エネ比が関西電力の約4.4倍の新電力（再エネ比率が全電源の61.82%[2015年度]を占めるV-Power社）が落札した。電力の入札で、国は温室効果ガスである二酸化炭素の排出量の少なさを主な評価項目にしている。環境省によると、国と同様の方法の自治体はあるが、再エネ比率を最重視する報告はなく、吹田市が初とみられる。入札は6月にあり、V社1社が応札し、年間の電力約2,100万キロワット時を、予定価格の70.5%の約4億4,540万円で落札した。切り替えるのは、市庁舎や小中学54校、図書館、博物館などの79施設。

CO₂の排出量の少なさを評価項目にすると、CO₂排出量が少ない原子力発電の多い電力会社も有利になる。一方、再エネ比率を主な基準にすると、原発は評価につながりにくい。

再エネ調達は、国際的に企業の間で広がっており、米アップル社などが「再エネ100%」をめざす方針を掲げている。脱原発を掲げる自治体もあり、今後、他の自治体にも「吹田方式」が広がる可能性もある。

10月22日は、選択の日です。原発反対の党と容認の党に分かれています。しかし、将来原発ゼロと言いながら、再稼働は容認する党もあります。よく見極めて、真に原発に反対する党を選択しましょう。

原発問題についての交流会

わたしたちは、原発ゼロをめざしてスタンディングアピール(SA)を5年間続けてきました。福島第1原発事故後、6年半が経過しましたが、未だに原発廃止の見通しは立っていません。そこで、下記の要領でSAの進め方の改善等について皆さんの英知をいただくべく、交流会を持ちたいと思います。SAに参加されていない方もぜひご参加下さい。

日時：11月11日(土)15:30~17:00(SAの前の時間です)

場所：阪急オアシス3階・フォルクス摂津301号室

第7回さようなら原発1000人集会

—破たんした原発政策—

講演：大島堅一(龍谷大学教授)

「やはり原発は割に合わない」

神田香織(講師)

「福島の祈り」

日時：2017年10月29日(日)13:30~

場所：いたみホール(阪急伊丹駅より北へ徒歩3分、JR伊丹駅より北西へ徒歩8分)

10.15大飯原発うごかすな！

関電包囲全国集会

日時：2017年10月15日(日)13:00~14:15

場所：関西電力本店前(大阪市北区中之島3丁目)(集会後デモ)

集合：15:15~15:30(靱公園)

出発：15:30(デモは難波まで、17:00頃終了)

主催：大飯原発うごかすな！実行委員会